



# 和田土地改良区



木島地区工事状況

ほ場整備事業完了地域（上越市大字島田上新田地内）

## 県営経営体育成基盤整備事業 木島地区の工事進捗状況

平成27年度補正予算で3.9億円が計上されて進められてきた、島田上新田を中心とする17haの面工事がこの春に完了し、農地集積、集約された担い手による大区画ほ場での生産性の高い農業経営が行われています。今年度は、673,900千円の予算によって木島を中心に51haの面工事が行われています。

### ■事業概要

事業主体：新潟県

事業名：経営体育成基盤整備事業

地区名：木島地区

総事業費：16億7,400万円

計画面積：95.9ha

予定事業期間：平成27年度～平成32年度

## Contents

### もくじ

- ②・理事長挨拶
  - ・第138回通常総代会開催
  - ・会計報告
- ③・平成29年度事業概要
  - ・国営かんがい排水事業
  - ・県営経営体育成基盤整備事業
- ④・お知らせ

### 土地改良区の概要

- 面積 716 ha
- 組合員 1,012 人

 〒943-0872 新潟県上越市大字石沢1759番地  
 TEL 025-524-5537 FAX 025-524-5536

- 発行：和田土地改良区
- 責任者：理事長 宮腰辰夫

 URL : <http://www.wadadokai.jp> E-mail : [wada@valley.ne.jp](mailto:wada@valley.ne.jp)

## お知らせ

### 平成29年度賦課金について

平成29年度の賦課金は、平成29年4月1日の土地原簿に基づき計算されます。

土地改良区の経常賦課金は、土地改良区の運営費や管内土地改良施設の維持管理費に充てられ、また、特別賦課金は、土地改良事業の借入金返済に充てられます。尚、平成28年8月26日開催の総代会に於いて経常賦課金（運営事務費）の単価を10a当たり1,700円から2,500円に引き上げることについて承認されました。

●第1期賦課金 納入期限

平成29年7月31日

●第2期賦課金 納入期限

平成29年10月31日

(特別賦課金を含む)

### 滞納賦課金の対応について

賦課金を決められた納期限までに納付しないことを滞納といいます。賦課金を納期限内に納付しない場合、土地改良区から催促の通知書（督促状等）が送付されます。また、賦課金を滞納されますと本来納めるべき賦課額のほかに、延滞金がかかります。【土地改良法第39条（定款第29条）】延滞金が発生しないよう納期限までに納めていただくようよろしくお願いします。

### 滞納賦課金は新組合員に継承

土地改良区管内の農地を売買するとき（競売取得も含む）や組合員資格

を交代する場合、その農地に滞納賦課金があると、新しくその農地を取得した方に滞納賦課金を支払う義務が生じます。【土地改良法第42条第1項権利義務の継承】農地の売買等の契約をされる場合は、トラブルにならないよう当事者間で十分話し合ってから滞納賦課金を精算するようお願い致します。

### 農地の権利移動・組合員の変更には届け出を!!

①組合員が住所を変更したとき  
②農業者年金の受給により経営移譲をするとき

③農地の売買や交換があったとき

④生前一括贈与するとき

⑤組合員が死亡されたとき

⑥賦課金の振替口座の名義を変えたり、口座を変更したとき

※農業委員会・農協へ届出を行い、法務局での登記が完了した場合でも土地改良区への届出がない限り、変更前の状態で賦課されることとなりますので、お手数ですがよろしくお願い致します。

### 農地中間管理機構経由の受委託について(ご注意を)

平成26年度から新たにスタートした農地中間管理機構経由での耕作地の受委託であっても、土地改良区への届出（組合員資格喪失通知書）は必要ですのでご注意ください。

### 公共事業の転用にも地区除外申請と決済金が必要!!

●当土地改良区管内で公共事業用地（道路、河川等）として、農地を売渡、寄付した場合でも土地改良法第42条第2項により、地区除外申請と決済金の納入が必要です。

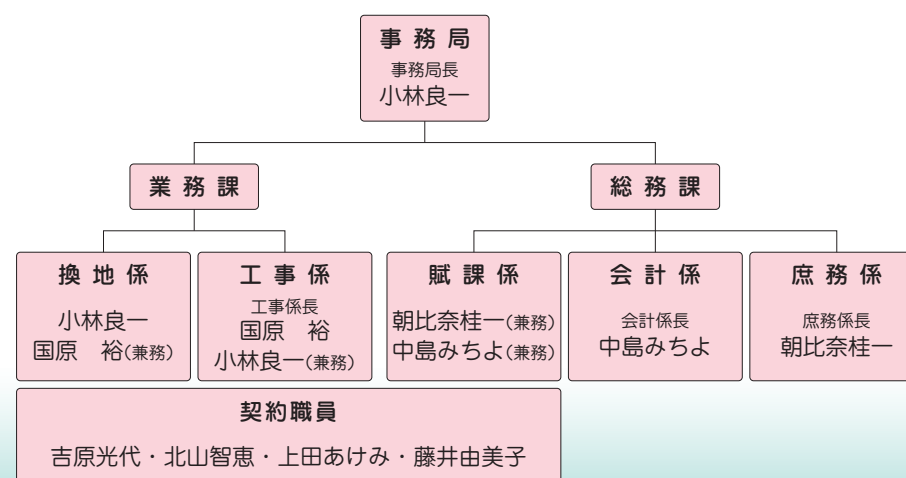
●公共工事の用地買収契約調印の際は、除外申請、転用決済金等について、十分事業主体と協議し、当土地改良区への申請をお願いします。地区除外の申請後、決済金を納入いただかないと土地原簿から面積削除できないため、従前どおり賦課されますのでご注意ください。

### 用水路やため池で遊ばないように!!



### 不法投棄はしない・させない

不法投棄は犯罪行為で、法律により処罰されます。5年以下の懲役か1,000万円以下の罰金です。



### 平成29年度事務局体制





理事長挨拶

組合員の皆様方には、日頃より当土地改良区の運営並びに土地改良事業の施工にあたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、暖冬小雪による水不足に見舞われましたが、各地区に於いて用水の節水などにご理解、ご協力を頂いたこともあり、大きな問題もなく良質なお米を生産することができました。関係皆様のご苦勞に改めて感謝申し上げます。今年は、十分な積雪もあり河川流量や笹ヶ峰ダムの貯水量も心配ないと思われませんが、計画的な用水利用に今後とも協力をお願い致します。

さて、国の農業状況ですが、平成30年産米より国などによる生産数量目標配分が行われなくなることから、7,500円の米の直接支払い交付金がなくなり、特に大規模農家の経営にとっては、大きな課題となります。また、経営所得安定対策として、飼料用米や大豆などの戦略作物助成により、水田フル活用するとともに、需要に応じた生産をしていくことが重要となってきます。このような中、国は、水田を畑地化、汎用化し、高収益作物が導入できるようにほ場整備事業などの基盤整備事業を推進しています。当土地改良区に於いても和田南部地区や木島地区を始としたほ場整備事業を実施・計画しており、和田地区の農地を次世代に引き継ぐための環境つ

くりが土地改良区の重要な使命だと認識しております。このように日々変わっていく農業状況の中、土地改良区の適正・効率的な運営に役職員一同、より一層努力して参る所存でございます。結びに組合員皆様のご健勝を祈念申し上げます。挨拶と致します。

第138回 通常総代会開催

去る3月29日、午後1時30分より、上越市ラーバンセンターにおいて総代34名（定数45名・現在員数43名）の出席を得て開催されました。議長には第2分区の植木舜治氏が選出され議事に入り、承認案件（平成28年度補正等）9件、平成28年度予算案件等18件、計27件の提案議題について慎重審議がなされ、すべて原案の通り承認、可決されました。



総代会の様子



植木舜治議長

平成29年度 事業概要

国営かんがい排水事業「関川用水地区」

関係土改：和田土地改良区

関川水系土地改良区

水上土地改良区

関係地域

事業費：130億円

（うちH29年度 25億5,000万円）

受益面積：全体5,843ha

和田管内369ha

事業内容：笹ヶ峰ダム

小水力発電所建設工事

笹ヶ峰ダム

取水設備改修建設工事

笹ヶ峰ダム

管理設備改修建設工事

笹ヶ峰ダム

施設搬入路工事

国営造成施設管理体制整備事業

地区：第2分区内

事業費：1,160千円

事業量：維持管理 1式

県営経営体育成基盤整備事業

地区：木島

総事業費：16億7,400万円

（うちH29年度 673,900千円

（H28補正）

総事業量：区画整理 95.9ha

（うちH29年度 51.0ha）

県営農業農村整備事業調査計画

地区：広島

事業費：13,000千円

事業量：調査設計・経済効果算定他

51.0ha

地区：三ヶ字地区

県営ため池等整備事業

地区：三ヶ字地区

事業費：8,000千円

事業量：実施設計 1式

地区：石沢地区

事業費：8,000千円

事業量：実施設計 1式

地区：石沢第1頭首工

事業費：2,610千円

事業量：換地等調整 1式

団体営経営体育成促進換地等調整事業

地区：広島

事業費：2,610千円

事業量：換地等調整 1式

団体営土地改良事業調査設計事業

地区：島田・和田北部・

事業費：15,740千円

事業量：ほ場整備構想設計 1式

地区：柳井田

事業費：29,830千円

事業内容：共同活動・

長寿命化活動

多面的機能支払交付金

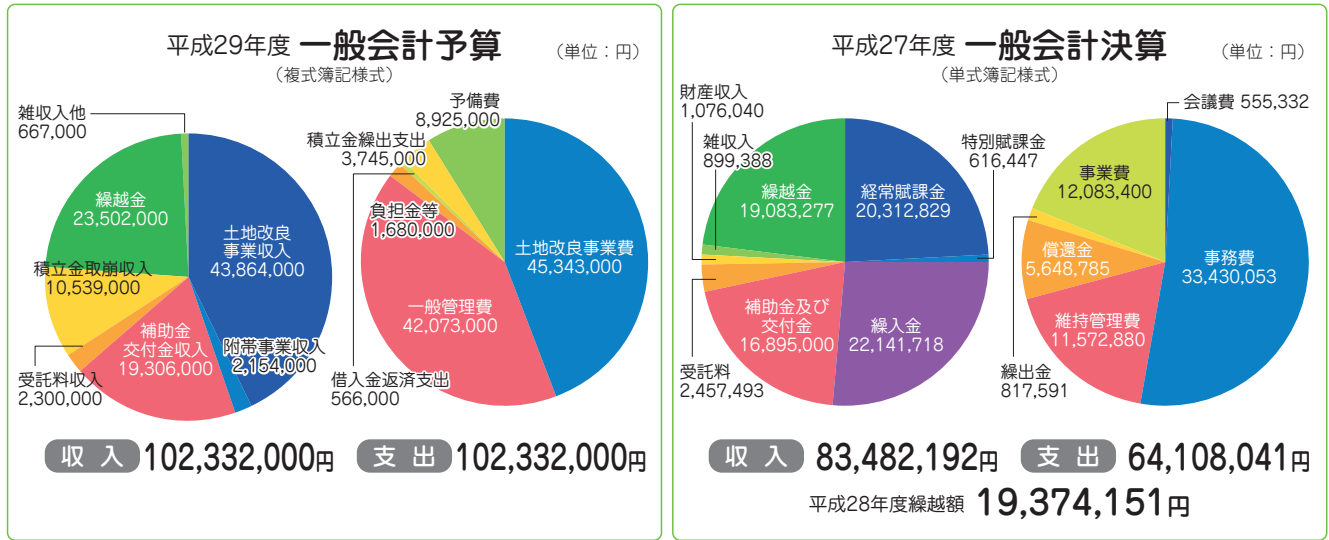
地区：和田校区 大和

事業費：29,830千円

事業内容：共同活動・

長寿命化活動

平成27年度一般会計決算・平成29年度一般会計予算概要



複式簿記の移行について

国の方針として、土地改良事業の透明性を確保し、土地改良区の運営を明確にするため複式簿記の導入を推奨しています。また、国営関川用水農業水利事業において、笹ヶ峰ダム小水力発電所が平成31年度より稼働となり、その売電収益を受ける際に、会計処理を複式簿記で行うことが必須条件となっています。当土地改良区としましては、全会計処理を平成30年度から正式に複式簿記で運用する予定であります。

平成29年度 国営かんがい排水事業「関川用水地区」事業計画

国営関川用水地区は、平成29年度の事業費として、25億5000万円が計上され、小水力発電施設等の工事を実施しています。土地改良区としましては、平成31年度の笹ヶ峰ダム小水力発電所の稼働に向けて、発電設備の保守点検業務や複式簿記による会計処理業務などの体制整備に重点を置き、各関係機関と調整を図りながら、事業完了を目指して参ります。

ほ場整備事業の今後の見通し

地区名	受益(ha)	事業実施期間(予定)
木島地区	95.9	平成27年度～平成32年度
広島	51.0	平成30年度～平成35年度
石沢	47.1	平成32年度～
島田	117.2	平成32年度～
和田北部	80.0	平成33年度～
上百々	13.0	平成33年度～
柳井田	10.0	構想中
稲荷	40.0	構想中



発電水車



施設計画図